

知れば知るほど奥が深い

お米作りのきほんの **き**

～ 中干・穂肥タイミング 編 ～



品質、収量にも影響がある中干しや穂肥の時期になってきました。

5月上旬の定植では、すでに中干しを始めている圃場もあると思います。

中干しの効果⇒①多くなった茎数を調整する役割②圃場に残っている窒素を抜く
③根に酸素を与える

穂肥の効果 ⇒穂が茎の中でできる時に葉の色が落ちるため、追加で施肥をすることで

①穂が長くなる②粒張りが良く大きなお米ができる

今回は重要な作業となります。気を付けて確認しましょう!!

中干しの効果

茎数が多いと余計な茎ができて養分を使うため、茎の平均が18～20本になったら中干しを。

Point

窒素が抜けて酸素の供給をするため、靴の跡に水が溜まっているぐらいの中干しがベスト!!!!

Point

! 注意

中干しが強いと根を切ってしまう、逆に弱ってしまう。特に、中干し後に水が抜けやすくなるので厳禁!!!!



穂肥の効果

【穂肥診断】

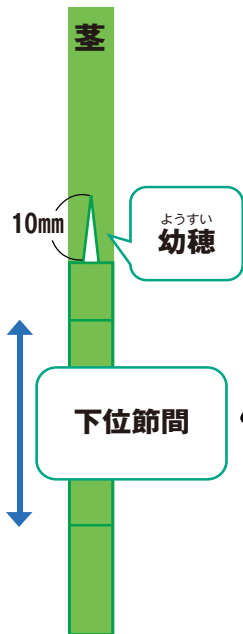
- ①稲の茎を縦に切って幼穂の確認
- ②幼穂の長さで穂肥のタイミングを見る（品種によって違うため確認）【図右】

早すぎる穂肥は下位節間が伸びて倒伏する可能性があるので注意!!
一発肥料でも色が極端に悪いところには穂肥を（後効きがあるので少なめ）

品 種	幼穂長	出穂前日数
コシヒカリ	10～30mm	18～15日
あきたこまち	5～10mm	20～18日
キヌヒカリ	5～10mm	20～18日
ヒノヒカリ	8～10mm	18日
にこまる	5～10mm	20～18日
ひめの凜	2mm	20～18日

施肥時期	穂数増加	籾数増加	退化防止	登熟向上	節間伸長
早い	○	○	○	×	×
適期	○	◎	◎	◎	
遅い			○	◎	

◎効果大 ○効果あり ×悪い



! 注意



いもち病にかかった置き苗

圃場でよく見る置き苗ですが、病気や害虫の巣になるので、早めに圃場外に持ち出すこと。
欠株については、周りの苗が分けつして大きくなるためわからなくなる。

令和4年産

西予米No.1 コンテスト 開催決定

詳細については、後日ホームページで公開予定